

<集团的かつ持続可能な支援体制の構築に積極的に取り組む事例>

○集落の高齢化に対応した営農支援体制の整備

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	みなみぼうそうし おもてだ・かわむこう 千葉県 南房総市 表田・川向			
協定面積 5.29ha	田 (100%) 5.29	畑 0	草地 0	採草放牧地 0
交付金額 42万円	個人配分 共同取組活動 (33%)			67 %
	水路・農道等の維持管理			25 %
	会議費			1 %
	役員活動報酬			7 %
協定参加者	農業者 22人、水利組合 1			開始：平成13年度

2. 取組に至る経緯

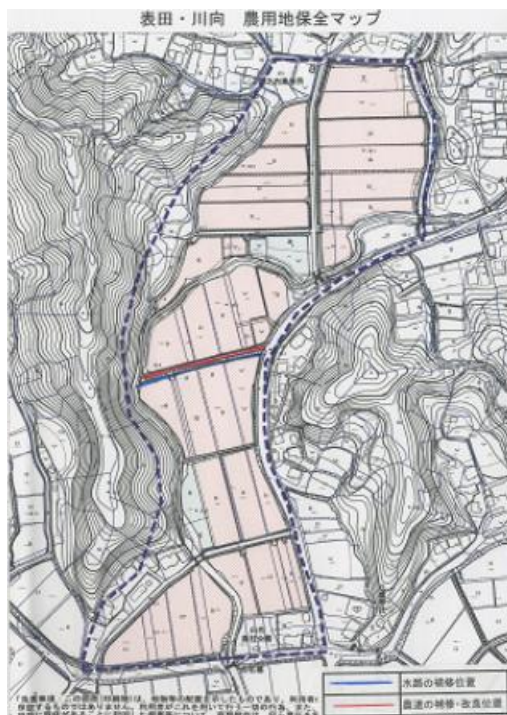
本集落は、山に囲まれた畑作地域ということもあり、担い手の高齢化等により耕作放棄地の発生が危惧されていたため、農業者で話し合いを行った結果、平成 13 年度から本制度に取り組むこととなった。また、第 1 期対策では、本制度への参加により、耕作放棄地発生が防止され、集落内の話し合いも活発化した。

第 2 期対策では、集落の農業生産活動の場としてさらなる活性化を図るとともに、低農薬や有機質肥料での農作物の生産に取り組んだ。

3. 取組の内容

第 3 期対策からは、高齢化により農作業が困難となる農業者の発生が懸念されるため、集落ぐるみのサポート体制を整備するとともに、機械・農作業の共同化を図ることとした。

また、前対策から継続して低農薬・有機質肥料を使用して栽培した農産物を直売所等で販売するなどして高付加価値型農業を行い、小規模でも持続可能な農業経営を目指し、協定面積のさらなる拡大を目指しているところである。



【農用地保全マップ】



【農作物の収穫作業】



【低農薬・有機質肥料による菜花】

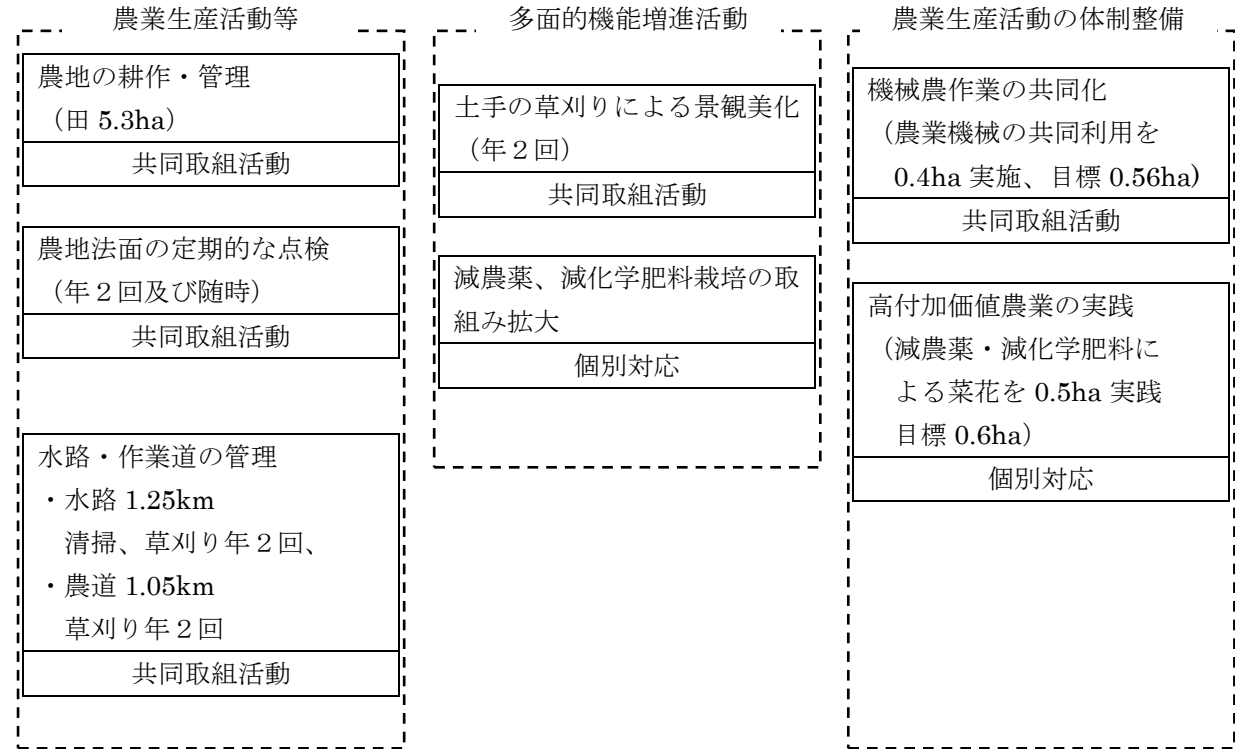
〔集落の将来像〕

○地域の実情に即した持続的な農業生産活動などの体制整備を行い、本集落の持つ多面的機能の確保を維持する。



〔将来像を実現するための活動目標〕

○環境にやさしい農業の実践により高付加価値型農業を目指すとともに、農業の継続が困難となった農業者が出た場合には集落ぐるみで支援できるようサポート体制を維持していくこととしている。



4. 今後の課題等

当集落では、農業者の高齢化が急速に進んでおり、多面的機能を維持保全するための体制整備を担い手対策とともに推進していく必要がある。